

平成 16 年 10 月 14 日

各 位

会社名 株式会社サークルKサンクス
代表取締役社長 土方 清
(コード番号: 3337 東証・名証第一部)
問合せ先
執行役員経理財務本部長 山口 利隆
TEL 03-5635-3524

株式会社サークルKサンクス 3カ年連結業績目標

弊社は、中期業績目標を下記の通り定めましたのでお知らせいたします。

(単位: 百万円)

	2005年2月期	2006年2月期	2007年2月期
出 店	417	436	449
閉 店	238	213	230
チェーン全店売上高	940,130	973,200	1,007,150
(前年比)	(104.2%)	(103.5%)	(103.5%)
営業利益	24,270	27,370	30,380
(前年比)	(108.2%)	(112.8%)	(111.0%)
経常利益	23,210	25,800	28,550
(前年比)	(117.8%)	(111.2%)	(110.7%)
当期純利益	12,580	14,210	15,750
(前年比)	(164.4%)	(113.0%)	(110.8%)

【環境認識】

コンビニエンスストア業界を取り巻く環境は引き続き厳しく、小売業で激化している競争は業態を超えて進み大手による寡占化が進むと考えられます。このような環境のなかで当社は、下記の8つの方針を経営戦略の柱とし、大手チェーンとして生き残れる改革を実現します。

メーカー情報と消費者情報の連携による顧客起点志向の『マーケティング・イノベーション』実現
店舗開発や新規投資に際して投資・資金効率を重視する体制づくり
コンプライアンス室の設置や行動指針の確立による遵法精神重視の経営体制
新人事制度の構築と安心して働くことができチームワークを重視した明るく開放的な企業風土づくり
業務プロセスの一本化による効率化推進
ローコスト経営に徹した無駄の排除と固定費の削減
あらゆる支援によるエリアFC育成と経営管理の精度向上
企業が成長を持続するための新事業・新業態の開発

【業績目標の前提条件】

毎年 200 店程度の店舗純増を行います。新店の日販は 46～48 万円程度、既存店の売上前年比は 98.0～99.0%程度とし、全店日販は 48～50 万円程度で推移するものと考えています。統合効果により平均値入率を 2006 年 2 月期+0.15%、2007 年 2 月期+0.25%改善、本社人員の効率化などにより販管費の伸びも抑制します。

以 上